

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第93号

[2017年3月号]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第93号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



メソトマンスリー

【メソト＝神谷 友子】



最近のメソット

皆様 こんにちは。メソトは日ごとに暑くなっています。日中は日差しが強く、毎日35度を超えるので、道で会った人と「おはよう！暑いね～」「ね！」というのが、あいさつのようになっていきます。

私は、クリニックでの外科病棟の看護業務支援を始めました。外科病棟には今年の看護トレーニングに参加したスタッフが5名いて、1日3交代のシフト勤務をしています。看護スタッフの主な仕事は、外科に入院している患者さんの血圧や体温・脈拍を測定して記録、内服薬や注射薬を準備して与薬、傷口の消毒や包帯交換です。午前中は、外来患者さんの外傷の手当てもあるので、とても忙しくしています。

まずは、患者さんの状態を知り、看護介入すべき問題点を見つけるために、看護アセスメントシートを使い始めています。患者さんの氏名、年齢から、痛み、食事、排せつ、運動、睡眠のことなどを聞き取って書き込んでもらっています。まだ試用段階なので、スタッフに使ってもらいながら、わかりにくい部分を修正したり、内容の見直しをしていく予定です。

外科病棟には、今、特に看護介入を必要としている長期入院患者さんが2名いるため、最近はこの患者さんの看護ケアをスタッフと一緒にしています。

一人は木から転落して脊椎を損傷したために首から下がほとんど自力で動くことができない患者さんです。遠く離れて暮らす家族とは長いこと連絡を取っていないため、連絡が付きません。たった一人で入院しているために身の回りの世話をしてくれる人がおらず、看護スタッフが主に介入しています。寝たきりの状態が続いていて、入院1週間後には床ずれができてしまいました。

看護スタッフは、床ずれができた患者さんに対しては、その部分に圧力がかからないように体の向きを変える必要があることは分かっているようですが、患者さんが痛がるとやらなかったり、時間や人手がなかったからと半日以上放置されていることもあります。また、看護スタッフが休みでシフトにしていたシフトの時には、ご飯を食べさせてもらえなかったと翌日になって患者さんが訴えてきたこともありました。

病棟の中に入ってみると、いろいろと課題が多く、次々に新しく入院してくる患者さんの対応もしながら、毎日があわただしく過ぎていきます。先ほどの患者さんに床ずれができてしまったことや、ご飯をもらえなかったことはとても悲しいことですが、私がクリニックに来たばかりの頃に比べると、状況は改善されていると思います。時間はかかるとは思いますが、一つずつ、看護ケアが浸透していくようスタッフと一緒に頑張っていきたいと思っています。





外来で外傷の手当てをしている看護スタッフ



仕事の合間に、手が空いたときには処置室の掃除をするのも看護スタッフの仕事となりました。丁寧に拭いています。



外科病棟で食事介助をしている看護スタッフ。昨年タイの病院での実習以降、女性看護スタッフは、長い髪をネットでまとめるようになりました。身だしなみにも気を付けるようになってい

国内から

【東京＝森】

みなさま、日頃のご支援ありがとうございます。正会員の森と申します。普段はHPの更新作業や、会報の送信、イベントでのお手伝いなどをさせていただいております。さて、段々と日が長くなり、桜の開花も待ち遠しい時期となってきました。私は花粉症もないので、明るく暖かくなってきて、新しいことにチャレンジしたくなる、この時期が一番好きな季節です。どんなことを始めようか、考えるだけでワクワクします。進級や就職、引越しなど、この春新たな生活が始まる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は昨年大学を卒業し、現在は地方の病院にて、初期研修医をしています。この病院では、昨年秋に、県内唯一のトラベルクリニック（渡航外来）が発足しました。もともと旅好きで感染症好きな自分にはぴったりの分野だと思い、この春から渡航医学の国際資格を取るため勉強を始める予定です。（予定で終わらないよう頑張ります。）会員様の中には、海外に行かれる機会のある方も多いため、今回はトラベルクリニックのお話をしようと思います。

皆さんは仕事や観光で海外に行く前に、トラベルクリニックの受診をしたことはありますか？トラベルクリニックは全国に90ヶ所以上あり、予防接種やマラリア予防内服の他にも、英文診断書作成、登山による高山病やダイビングによる潜水病などの相談も対象としています。

マラリアなどと聞くと、遠いアフリカ大陸やアマゾンでの話のような印象を受けますが、私が働く地方病院でも、マラリアやデング熱の患者さんがまれに受診されます。旅行から戻ってきて、国内で発症する患者さん（輸入感染）が少なくありません。マラリアは世界中で年間100万人以上が死亡する重大な感染症であり、日本では年間40～50例の輸入例があります。数年前に代々木公園を閉鎖しニュースを騒がせたデング熱は、年間300例もの輸入例報告があります。

また、日本人になじみのある台湾やハワイ、バリ島などの観光地でも種々の感染のリスクがあります。必要となる予防接種は渡航先によって様々ですが、厚労省・検疫所のHPでも確認することができます。

予防接種は複数回、間隔をあけて打たなければならないものも多く、渡航の半年前には受診をしていただきたいところです。せっかくの海外渡航が、より安全に楽しく過ごせるよう、ぜひ早めのトラベルクリニック受診をお勧めします。

編集後記

先日、京急が売り出している「みさきまぐろきっぷ」というお得なきっぷでお出かけをしてきました。現地までの往復乗車券と京急バスフリー区間の乗車券、選べるまぐろお食事券、選べるレジャー施設利用券もしくはお土産券がついて約3000円。

品川～三崎口間で片道853円の往復乗車券、フリー区間内のバスも乗り放題。お食事券でおいしいまぐろ丼（今回入ったお店は伝票に1540円と書いてあった）、油壺マリンパークの入場券1700円なので、（4946円＋バス代）が、みさきまぐろきっぷだとコミコミで3060円とかなりお得。私は油壺マリンパークに行きましたが、お土産券として使うとだいたい600円前後のお土産と引き換えられるそうです。



